

## 表紙のことは

### 藏田 隆文「花火」

18 トリソミーの長男は手指・手首の屈曲があるため、手先の動きに困難があります。現在8歳になりますが、少しずつできる動きが増え、最近は棒を握ったり振り回したりして楽しんでいます。

今回の作品は、息子の指先を使って色をつけたり、絵筆を握らせてもらって描いたそうです。人とかかわりが大好きで、いつも笑顔の息子が、放課後デイの先生と楽しんで描いた様子が伝わってくる作品です。

(母)



## 今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



### 小林 みね子「海岸から見た光景」

この作品を作成するにあたり、どんな絵を作成したいかを尋ねると、「部屋でいるときも考えてたんやけど……」と今回の図案を出され、話を聴くと、昔旦那様と一緒に訪れた和歌山の海の思い出を話してくださいました。制作している間もたくさんお話ししてくださいっており、思い出深い作品になったと本人も言われていました。また、作品を通して病棟スタッフや他患者様とのかかわりが増え、院内生活の中でも楽しみを増やすきっかけとなりました。(担当 OT: 徳永)